



日露戦争時に 世界を驚嘆させた  
 明治天皇より 学習院長を拜命す  
 乃木希典

希 <small>まれ</small>	の	学 <small>まな</small>
典 <small>すけ</small>	乃 <small>の</small>	び
平成30年度 秋季特別展	木 <small>き</small>	舎 <small>や</small>




平成30年 **2018**  
**9.13-12.1**  
 (木) (土)

【開室時間】10:00 ~ 17:00  
 【開室日】月~土曜日  
 【閉室日】日曜、祝日、  
 10/19(金)・20(土)、11/1(木)・5(月)  
 【特別開室日】11/3(土・祝)・4(日)・23(金・祝)

**会場** 学習院大学史料館展示室  
 (学習院大学 北2号館1階)



**入場  
無料**



【関連講座】  
 第87回 学習院大学史料館講座  
**「思ふどち 語りつくして  
 —乃木希典と寺内正毅—**

講師：山口輝臣氏（東京大学准教授）  
 日時：平成30年10月6日（土）  
 14:00 ~ 15:30（13:30開場予定）  
 会場：学習院創立百周年記念会館正堂  
 ※入場無料・事前申込不要

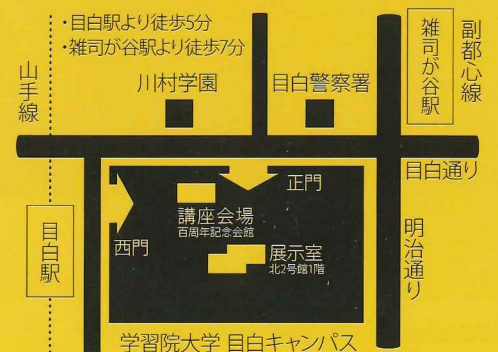
【ギャラリートーク】  
 日時：10/13（土）、11/3（土）  
 いずれも 14:00 から 30分程度

※入場無料・事前申込不要（開始時間に展示室にお集まりください）



学習院大学史料館

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1  
 TEL 03-5992-1173 (直)



HP URL : <http://www.gakushuin.ac.jp/univ/ua/>  
 Twitter URL : [https://twitter.com/g\\_shiryokan](https://twitter.com/g_shiryokan)



①



②



③

## 学び舎の乃木希典

今年、明治という時代が始まってから150年。明治10年（1877）、華族子女のための学校として神田錦町に創立した学習院が、明治41年（1908）に現在の目白校地に移転してからは110年となりました。

明治40年（1907）、学習院の第10代院長に就任した乃木希典は、当時、日露戦争で旅順攻略を指揮した陸軍大将として、多くの人びとから敬慕される存在でした。明治天皇からの深い信頼を背景に院長となった乃木は、みちのちのちや ひろし ひと 通宮裕仁親王（後の昭和天皇）をはじめ、皇族・華族の子弟らの教育に尽力してゆきます。

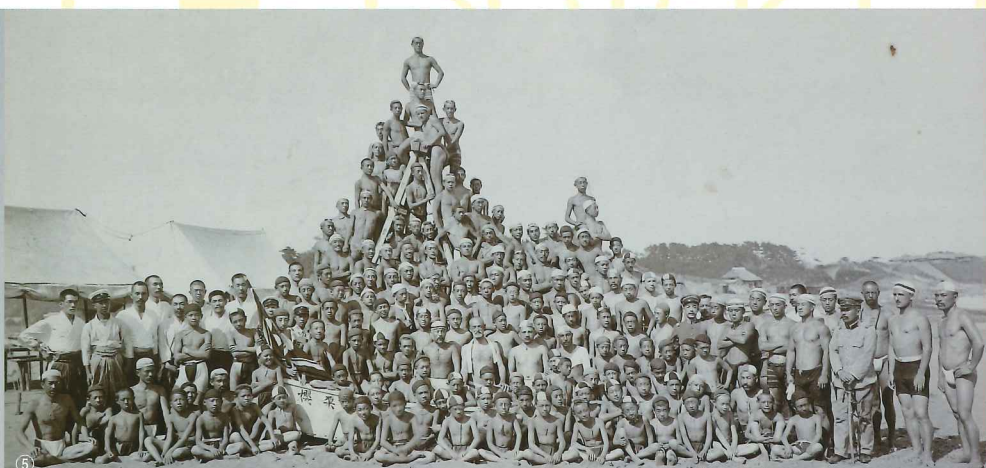
乃木の教育方針は、人格形成を重視したもので、在任中にはさまざまな場面で学生へ向けて訓示を与えています。目白校地において中・高等学科に全寮制が採用されてからは、乃木は寄宿舎に起居して学生と生活をともにし、自ら範を示して指導にあたりました。その質実剛健を旨とした教育は“乃木式”ともいわれ、長く学習院の教育方針とされました。厳格ながらも学生から慕われた乃木院長のエピソードが、数多く残されています。

大正元年（1912）9月13日、明治天皇の大喪当日に、乃木は自刃しました。この「殉死」は社会に大きな衝撃を与え、明治の終わりを象徴する出来事のひとつとして記憶されました。院長を喪った学習院では、学生・職員によって通夜・追悼会が営まれました。

この展覧会では、学習院長乃木希典が、学習院で使用した品や、在任中に皇室から下賜された品、旧蔵の書籍、直筆の書などを、当時の写真や豊富なエピソードとともにご紹介します。軍人としてだけではない、学び舎の乃木希典の姿をご覧ください。



④



⑤



⑥



⑦

(表) 乃木希典写真【当館蔵】、木杯・乃木希典所用軍帽・菊御紋桐文様高彫銀鉢・七宝菊御紋蓮文花瓶【学習院アーカイブズ蔵】  
 (裏) ①「学習院高等学科卒業記念写真」(「乃木院長記念写真帖」より) ②乃木希典所用眼鏡【学習院アーカイブズ蔵】 ③乃木希典揮毫扇面【当館蔵】 ④乃木希典所用軍帽・軍服【学習院アーカイブズ蔵】  
 ⑤「游泳学生と共に写せる院長」【当館蔵】 ⑥乃木希典所用茶碗一式【学習院アーカイブズ蔵】 ⑦「学習院寄宿舎総寮部に於ける院長の居室」(「乃木院長記念写真帖」より)